

FUSO

| NO.75 | 2021 11/12 Nov.Dec. magazine



次世代の世界基準EVトラック!

eCanter最前線レポート



CONTENTS

03 ■ OUR PRIDE

名鉄運輸株式会社
代表取締役社長 内田 互

06 ■ SERIES CONTENTS | 01

「eCanter」最前線レポート

08 ■ SERIES CONTENTS | 02

ビジネス処方箋
社員のモチベーションを
いかに上げるか？

10 ■ SPECIAL CONTENTS | 01

すべての道は「安全」に通ず。
新型スーパーグレート
開発技術者スペシャルインタビュー

12 ■ SPECIAL CONTENTS | 02

「信頼」を形に
キャンターのエンジンが
さらに性能アップ！

14 ■ SERIES CONTENTS | 03

絶品 地元メシ
全国SA・PA おいしい手土産図鑑

16 ■ SERIES CONTENTS | 04

トラックコネクットの6つのメリットさらに+1

17 ■ はたらくトラック ゴミ収集のエキスパート、 中島運輸の塵芥車にキャンターが活躍！

18 ■ 冬用タイヤに交換したら、点検を忘れずに！

19 ■ FUSO information

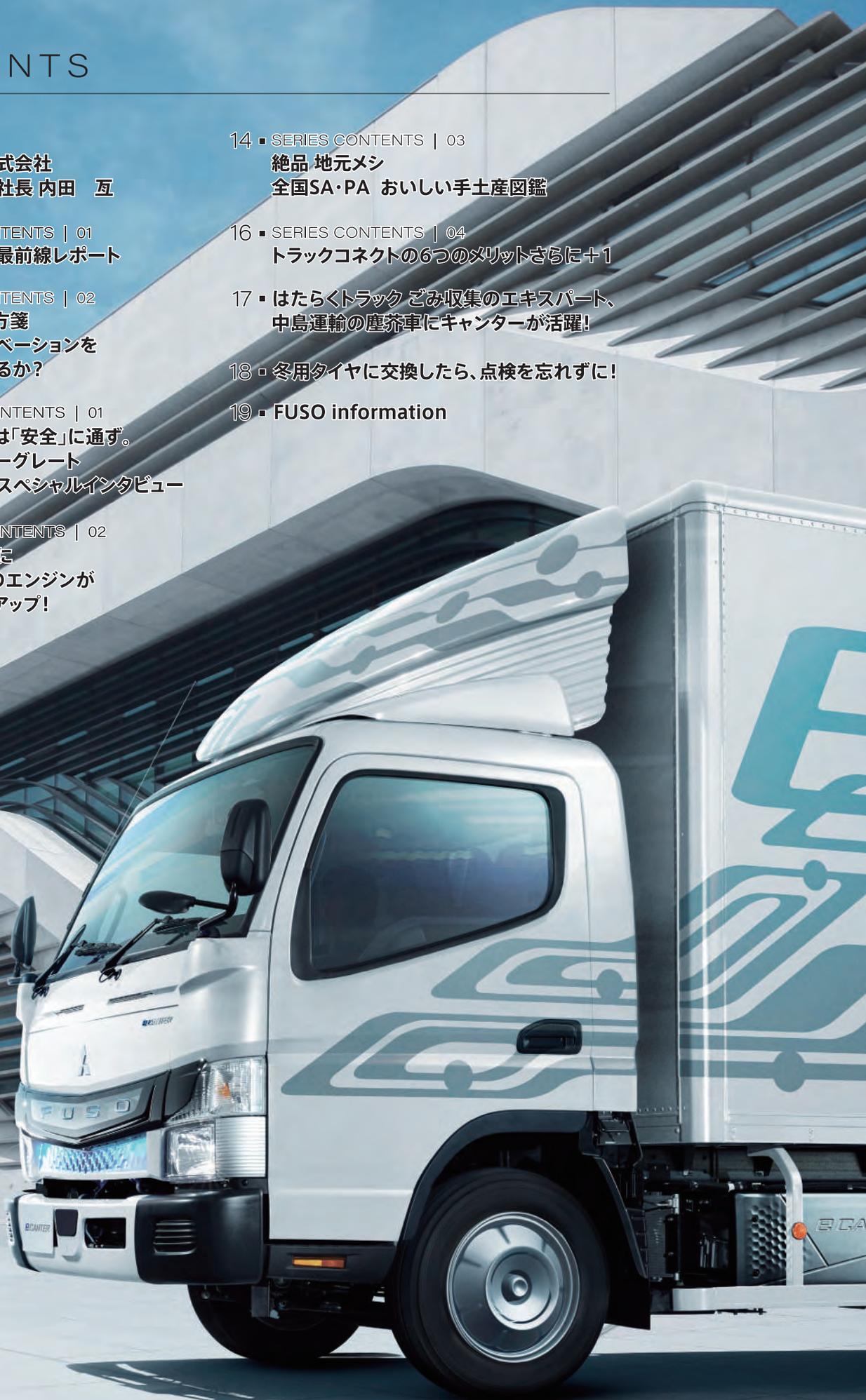


FUSO
magazine

| No.75 | 2021 11/12 Nov.Dec.

表紙Photo:eCanter

©FUSO magazine 本誌掲載の
記事、写真、イラスト等の無断複写、
転載を禁じます。





MEITETSU
TRANSPORTATION

トラックに描かれた、
こぐまのマスコット・キャラクターで
お馴染みの名鉄運輸株式会社。
「労働生産性の向上や
付加価値のある物流、SDGsを
重視した経営を推進する」と語る
同社代表取締役社長内田互氏に、
経営に対する想いや
今後のビジョンなどを伺った。

全国を網羅するネットワークが特長
安全安心の「こぐま品質」で輸送を展開

名鉄運輸株式会社
代表取締役社長
内田 互

グループネットワークで 特積み貨物運送を全国展開

——こぐまのマークの御社のトラックを、
街で拝見しますが、業務内容をお教えてください。

特積みと呼ばれる、チャーター便を使用するほどではない中ロット以下の貨物、いわゆる小口混載便の輸送を主力として、それに付随する貸し切り輸送や倉庫、サードパーティー・ロジスティクス(3PL)の事業を行なっています。当社は全国21のグループ会社とネットワークを築いて、貨物(＝商品)を全国津々浦々に届けています。全国にネットワークを持つている特積み事業の会社は案外少ないのですよ。これは当社のセールスポイントでもありません。日々、「こぐままで預かった商品は最後までこぐま品質でお届けます」We're Koguma for the Best Quality & the Futureをキャッチフレーズにグループ一丸となって取り組んでいます。



▲「こぐまスピリット」のもと、社員同士のチームワークも抜群

安全安心に商品をお届けする 「こぐま品質」が誇り

——安全に貨物(＝商品)を運ぶために、
取り組んでいることや

心掛けていることはありますか？

当社ではお預かりした商品を地道に最後まで損傷なく届けるという「安全安心な「こぐま品質」」に誇りを持っています。安全に輸送するために、リフト操作の指導や、荷崩れを防止する積み方の指導、品質会議を日常的に行なっています。しかし、技術面から先の品質保持は、各社員の使命感も大きく影響してきます。私が社長に就任して以来、社員たちには、お客様や上司、同僚、家族に対しても「礼儀正しく、明るく元気よく」接するように、そして過積載やスピード違反は厳禁、自分のできるベストの輸送をするようにと話しています。

また、「こぐま品質」というブランドを前面に押し出してから、以前よりグループ会社とも結束が深まりました。同じ制服を着たドライバーたちのリレーによって、商品をお届けするという一体感が育まれたと思っています。



▲預かった商品を確認。こうした積み重ねがこぐま品質キープの秘訣

物流倉庫＋トラックターミナルで 付加価値のあるサービスを提供

——新たなトラックターミナルを
オープン予定と伺いました。

特積みの輸送サービスとロジスティクスの融合を積極的に進めています。昨年9月の「名鉄トラックターミナル関西」に続き、来年の秋には「名鉄トラックターミナル中部」を新築オープンさせる予定です。ここにはトラックターミナルと物流倉庫が併設され、一時的な商品の保管もできます。例えば毎日集荷して各地に輸送していたものをまとめて集荷し、倉庫に保管してから輸送すれば、貨物量の平準化が図られ、労働生産性も上がります。また、トラックターミナルの倉庫に中間在庫を持っていれば、自然災害など不測の事態が起きてもお客様に届けられます。今後は各地に物流倉庫を併設したトラックターミナルを作り、物流倉庫、3PLといった付加価値のある事業を拡大していきます。



▲名古屋東支店で活躍する「eCenter」(上) 昨年開設された大阪支店(下)

SDGsに取り組み 環境に配慮した「eCarter」を導入

— SDGsに取り組み、環境負荷軽減のため
三菱ふそうの「eCarter」を導入されたと伺いました。

SDGsには17の目標がありますが、できることから実践していきたいと考えています。社会的な責任を持つ企業として、SDGsは当然取り組むべきことです。これからの企業は利潤追求のみでは成り立ちません。当社では倉庫に太陽光発電を採用し、早々に電気トラック「eCarter」も導入しました。CO₂排出量の削減など、SDGsの課題の解決に貢献するためです。「eCarter」は2017年に東京と愛知に、20年に大阪に、今年7月に四国に導入し、現在14台が運行しています。また、三菱ふそうの研究開発の心意気にも感じるものがありました。1日の走行可能距離など改良して欲しい点もありますが、いずれは電気自動車が主流となるでしょうし、今後も積極的に導入する予定です。三菱ふそうにはなるべく早く、大型の電気トラックも作って欲しいですね。



▲名鉄運輸本社の1階にはこくまのマスコットとSDGsのディスプレイが



COMPANY DATA

名鉄運輸グループ

“We're Koguma~for the Best Quality & the Future~”がキャッチフレーズ。グループ一丸となり高品質の輸送を提供、顧客やパートナーとともに未来志向で持続的な成長を、という思いが込められている。

グループ拠点数: 284拠点
グループ社員数: 7460名
グループ保有車両数: 6397台
(2020年12月現在)

名鉄運輸株式会社
愛知県名古屋市中区
代表取締役社長: 内田 亙
会社設立: 昭和18年



▲名鉄運輸本社ビル

働き方改革や女性の積極的な活用が
業務改善や生産性の向上につながる

— 近年、働き方改革や女性の活用が話題となつていますが、御社ではいかがでしょうか？

当社グループの支店運営においての「要」は女性陣で、テキパキと業務を進めてくれます。また、多くの女性管理職もいます。女性ドライバーも多く、当社のプロモーションビデオでも、彼女たちの働きぶりを見ていただけます。また、働きやすい環境を作るために、社員からの提案、相談を受け付ける窓口も充実させ、積極的に利用されています。会社に相談すれば何とかしてくれるという信頼関係が生まれ、社内の風通しもよくなったと感じています。寄せられた意見は、業務の効率化や労働生産性向上の参考にもなります。将来の夢や家族のために働いているのですから、会社はそれを叶える援助をしていくべきと考えています。

「eCanter」 最前線 レポート

三菱ふそうが、初の量産型
小型EV(電気)トラック「eCanter」を
発表してから4年。日本はもちろん
世界各地でも導入の動きが加速しています。
話題の「eCanter」の“いま”をレポートします。



eCANTER

「eCanter」導入のメリット

- 1 パワフルな走り**
 同クラスのディーゼルエンジンをしのぐ高出力で、最大トルク390Nm。走り始めから最大トルクに達し、積載状態での発進・停止を繰り返す配送業務に力を発揮
- 2 低騒音・低振動**
 騒音の発生が大幅に抑えられるため、市街地や住宅街での早期・深夜配達に最適。また、低振動でドライバーの身体への負荷も軽い
- 3 ゼロ・エミッション**
 CO₂や汚染物質の排出が実質ゼロで、環境負荷を低減。企業のイメージアップにも貢献する
- 4 充電と走行距離**
 1回の充電で約100kmの走行が可能。フル充電にかかる時間は、急速充電なら最長約1.5時間、普通充電なら最長約11時間
- 5 燃費(電費)の大幅削減**
 ディーゼル車から「eCanter」に変更した場合、同じ走行距離なら、ディーゼル車の軽油代に比べ、約20~60%のコスト軽減が期待できる
※一定の条件での弊社による試算
- 6 維持費の大幅削減**
 ディーゼル車に比べ、「eCanter」はシンプルな構造でメカニズムのパーツが少ないため、メンテナンスコストの低減が可能

「eCanter」について詳しくはコチラ



世界と日本の潮流は電気トラックへ

「eCanter」は、従来のトラックのように軽油を燃料とせず、電力でモーターを動かして走行する小型EVトラックです。CO₂を排出しないで走行する「eCanter」は、発表当時、温暖化の影響で深刻な環境問題に直面する世界の国々に、強い関心と期待をもって迎え入れられました。

以来、日本のほかイギリス、ドイツ、スイスといった欧州諸国や、北米、オーストラリア、ニュージーランドなどを追うことに海外の企業でも続々と導入されており、現在日本では約70台、全世界では250台以上が環境に優しい輸送に貢献しています。アジア各国からも強い関心を寄せられており、近い将来にはEVトラックの採用が世界的なスタンダードになると予測されています。

先進安全機能も標準搭載

「eCanter」はCO₂や環境汚染物質を排出しないだけではありません。小型トラックは市街地や住宅街での配送に使用されることが多いですが、気になる走行時の騒音もディーゼル車と比較して大幅に抑えられていること、メンテナンスや燃費(電費)などランニングコストが低いことなども長所です。

また、2020年発表の新型には先進安全機能として、前方の危険を察知するとドライバーに警報を発生し、ブレーキを自動的に作動する「衝突被害軽減ブレーキ」や、走行中カーブでの横滑りや横転の危険回避をサポートする「車両安定制御装置」、さらに車線の逸脱時にドライバーに警報する「車線逸脱警報装置」を標準仕様として搭載。次々パワーアップする安全性も評価されています。

「eCanter」についてドライバーさんに聞いてみました



▲「ディーゼル車と比べても力強さは十分」と東京・新砂支店の藤塚厚さん(左)と神谷雄一さん(右)



▲「アクセルを踏んだときの動きがスムーズ。ブレーキの利きもいい」と語る名古屋東支店の浜口隆康さん

運送業やさまざまな業界で注目されている、「EVトラック」
「eCanter」。実際の乗り心地や操作のしやすさは、毎日
輸送で使用しているドライバーさんに聞くのがいちばん。
名鉄運輸株式会社の愛知・名古屋東支店と東京・新砂支店
で、3人のドライバーさんにお話を伺いました。3人とも
ドライバー歴20〜35年というベテランで、普段は住宅街や
市街地で日用雑貨などの貨物の輸送を担当しているそう
です。皆さん、電気自動車に乗るのは「eCanter」が初めて
とのこと。操作性がよく運転にはすぐ慣れたといいます。
「早朝、住宅街を走るときには音が静かで助かります」
「加速がスムーズなのがいいですね」「振動が少なく疲労感
が軽減しました」「同僚からもEVトラックどんな感じ？
運転してみたいと言われることがよくあります」などの感
想をいただきました。

また、他の会社の方たちの関心も高く、配達先などで、
「eCanter」を見せて欲しいと言われることも多いそうです。

操作性や加速のよさ、低騒音も満足



名鉄運輸株式会社

環境負荷軽減などの社会的課題に積極的に取り組み、いち早く「eCanter」を導入。市街地での配達に活躍している

さまざまなシーンで活躍する「eCanter」

「eCanter」は輸送業のほか、脱炭素社会を目指し
環境に配慮する市町村の公共サービスなど、
多彩な現場で活躍しています。



報酬&待遇、ヤリガイ、仕事(会社)の魅力…どれも正解ではあるけれど

社員のモチベーションを いかに上げるか？



会社を動かす大きな原動力の1つが社員のモチベーション。
それなりの報酬や待遇、ヤリガイある仕事を用意したつもりでも、
社員の感じ方は世代や、個々のライフスタイルによって異なります。

これから年末に向けて仕事のかきいれどき——

社員のやる気、モチベーションを
高める手立てを考えたいものです。



コミュニケーションがとれているか、なのです。

「何となく社員の士気が落ちてきた」とか、「下がり気味」という「あいまいな感じ」が見受けられたら、社員のやる気アップを考えなくてははいけません。とくに難しいことではありません。肝心なのは、現場の社員といかにコミュニ

ケーションがとれているか、なのです。業績が回復したから、とあぐらをかいていると痛い目に遭うのが世の常です。

経営者や管理職の方々が、「何となく士気が落ちてきた」とか、「モチベーションが下がり気味だと感じる」社員にやる気をもたせたい。これはコロナ禍で厳しい中、大きな課題になっています。

「コミュニケーションをとり、ねぎらおう」



指導する側も、欠点を指摘して直させるよりも、長所をほめ、成長を期待するほうが建設的で、今の時流には合っているといえます。

「無遅刻・無欠勤」といった勤務態度や、いつもこまごまざつぱりとして身なりがきちんとしているとか、机回りが整理整頓されているとか、運転するトラックの清掃が行き届いているというようなことでもいいのです。そうした姿勢や行動は自分だけでなく、周囲に好影響をもたらすし、その仕事ぶりは、やがて顧客からの信頼につながるからです。

また、社員をほめることも大切です。「業績が伸びた」「個人指名の依頼が増えた」とか、表に出てくる成長の証はほめやすいですが、その他、小さなことでもいいのです。

「小さなことでもほめる」

経営者ならたとえば、ねぎらいの言葉をかけたり、差し入れをしたりするといいたいです。家族構成を把握していれば奥さんや子どもさんなどについてさりげなく様子伺いするのもアリです。社長が自分や家族のことまで気にかけて、見守られている感を醸すことで、気持ちも上向きになります。

社員の想いを受けとめ、動く

仕事の量は適切か、仕事に対して満足感はあるか、不満不満があるか、給与や待遇面に納得しているか。また健康面についても注意が必要です。

日常の会話で把握するのも大切ですが、アンケートを実施してはいかがでしょうか。

アンケートという手順をしっかりとることで、会社側が社員である自分たちの「意見」や「想い」を受けとめてくれると感じてもらえることができます。

社員たちの声を知ったら答えを吟味し、具体的にすぐアクションを起こす必要があります。社員の声に対して動くことは、会社自体の風通しがいかにかのバロメーターになるからです。

インセンティブを選択肢に

会社のビジョンは短期、中期、長期と分けて示すといいでしょう。当面の売上目標や運送回数目標でもいいのです。わかり

モチベーション・アンケート

仕事に対して思うこと

- 仕事量は適切か 適切 多い
 仕事に満足しているか 満足 不満
 満足していること ()
 仕事に不平不満はないか ある ない
 不平不満に思うこととは ()

報酬・待遇について

- 給与に満足しているか 満足 不満
 待遇に満足しているか 満足 不満
 ポストや住宅手当などについて思うこと ()

健康面について

- 休日数に満足しているか 満足 不満
 休日(有給休暇)について会社への提案 ()
 健康診断に参加したか した していない

その他

- 会社への要望 ()



やすい形で提示しましょう。

短期で成果を出すにはインセンティブを設け、社員のやる気を高めるといった方法もあります。

また健康対策について、滞りがちな健康診断は会社の責任で年1回は実施し、参加を徹底させましょう。

以前なら、報酬や待遇、仕事のやりがいなどに特化して、会社の魅力を訴求し、社員のモチベーションを保つことができませんでした。昨今は、選択肢が増え、中小企業に限らず、大手企業ですら社員のモチベーションをいかに保ち、上げるかが大きな課題となっている時代です。

どうしたら社員のモチベーションが上がるか、社員の声に耳を傾け、さまざまな選択肢を考え、提示してみてはいかがでしょうか。

コラム マズローの法則

人は成長・成熟するにつれ、空腹を満たし、生命を維持するための「生理的欲求」→お金を稼いで生活を安定させる「安全欲求」→会社やチームに属したい「親和欲求」→他者に価値ある存在と認められたい「承認欲求」→能力を発揮して創造的に生きる「自己実現」を求めると言われます。

「自己実現」の形も人によってさまざまです。運送会社なら、生涯ドライバーとして極めるのもOK。ある程度歳を重ねたら、マネジメントや教育指導に回ってもらおうという道もあります。

マズローの法則 (欲求5段階説)



人間の欲求は低次が満たされると高次へと上がっていく

すべての道は「安全」に通ず。

新型スーパーグレート 開発技術者スペシャルインタビュー

今年6月、「スーパーグレート」に新型モデルが登場した。商用車国内初となる様々な新機能を搭載した、革新的大型トラック。中でも特に際立つのが「アクティブ・サイドガード・アシスト1.0」をはじめとする安全性能の進化だ。今回はその開発に携わった6人の技術者に、完成に至るまでの道のりを語ってもらった。



新型スーパーグレート 6人の開発技術者のみなさん



大型トラック・バス商品
プロジェクト部
マネージャー
伊原 忠人



ドライバー
アシスタンスシステム
設計チーム
北川 哲也



ドライバー
アシスタンスシステム
設計チーム
山口 剛二



ドライバー
アシスタンスシステム
実験チーム
小林 義雄



ドライバー
アシスタンスシステム
実験チーム
加藤 真人



ATS/冷却システム
マネジメントチーム
成田 祐介

「すべての開発のヒントは日本の道の上にあります。」

「使う側の視点を開発に活かせるよう心がけています。」

「トラックで最も大切なのは安心して使える信頼性です。」

「我々が全員で自信を持って開発した安全装置です。」

「グローバルな視点を持ちながら日本の高性能を追求します。」

「これからも車への愛情を持って開発に挑み続けます。」

スタートは、重大な死亡事故を減らしたいという技術者の思い。

大型トラックによる事故をゼロにするのは、現段階では難しいかもしれない。しかし、重大事故にならないようにすることは可能なのではないか。安全性能のさらなる強化を目指す。今回のモデルチェンジにおける大きなテーマのひとつが、そこにあった。

車体が大きく重い大型トラックは、ひとたび事故が起ると重大な事故につながる事が多い。新規搭載の**アクティブ・サイドガード・アシスト1.0**は、「そんな重大事故を少しでも減らしたい」という技術陣の強い思いから生まれた。左折時の危険を警報で知らせたこれまでのシステムに、商用車国内初※の被害軽減ブレーキを新たに追加。重大事故に直結する大型トラックの左折時の自転車巻き込みの被害を、ブレーキをかけることで軽減するものだ。これを付ける

ことで、今までの事故なら助からなかった命を救うことができるのではないかとマネージャーの伊原氏は言う。万一、左折時に自転車などと接触したとしても、トラックが止まれば重傷までに至らない事故に留めることができるのだ。

しかし、このシステムの開発には大きな課題があった。「思いも寄らない所でブレーキがかかってしまつては、ドライバーも混乱しますし、かえって危険になることもあります。だから、誤作動に対してはすぐく気を遣いました。山口氏が言うのは、誤検知・誤作動の問題だ。

この課題を克服するためには、実際に走るしかない。「日本全国をカバーできるくらいの距離を走って膨大なデータを集め、それを基にチューニングしているんです。北川氏は、走ることの大切さを強調する。日本の交差点はどういうものがあるのか。自分たち自身の運転で各地を走り回り、データを収集する。それを繰り返す毎日が続いた。

※国産トラックにおいて、2021年5月時点。三菱ふそうトラック・バス調べ。

最先端の「安全」に続く長い道を、自分の脚で走り続ける。

「道の広さ、カーブの大きさ、交差点の角にあるのはポールか、ガードレールか。そして、曲がる時のスピードはどれくらいなのか。喜連川研究所を出発して、都内の首都高、一般道、日光いろは坂の峠道……。早朝から夜まで、一日中いろんな条件の道データをとりながら走りました」と話してくれたのは、テスト走行を担当した小林氏。加藤氏とペアで、運転を交代しながら行った。実際にデータをしながら走っていると、意外なものにレーダーが反応してしまったり、それまで気づかなかったさまざまな発見があったという。

「自分自身で運転しながらでないと、ブレーキの感覚などもわかりません。最後はやはり、人間の感性が重要になってくるんです」と言う成田・加藤・小林氏。初速や距離、相対速度などを変えながら何度もテストを繰り返し、データ上だけではわからない、ドライバーにとって最良の結論を導き出す。被害軽減ブレーキの強さもそうだ。「強過ぎると、まず後ろの車が追突する危険性があります。荷物も荷崩れしてダメになる。ドライバーに危険が及ぶことだってある。そうなるシステム自体のスイッチを切られてしまうことも考えられます。だから、ブレーキの強さと動作車速の設定はとても難しくかったですね」と小林氏は開発の苦労を語ってくれた。人の命を救う最先端の安全装置も、使われないのでは意味がない。日本の道路事情や交通環境に合った安全システムを、実際のドライバー視点で考える。その開発の姿勢がなければ、商用车国内初のこの機能は生まれなかったであろう。

コロナ禍の長距離テスト走行で、ドライバーの苦勞を体感。

コロナ禍の影響で、連日のテスト走行でも大変な思いをしたという。「泊まりでは行けないので、一日でハードな走りになってしまいました。体力的にもタフでしたね」と語るのは加藤氏。飲食店が営業自粛中で、食事もままならない。施設によっては、トイレさえ閉鎖している時期があった。しかも大型トラック、どこにでも駐車できるわけではない。

「でも逆に、ドライバーの大変さを知るいい機会になりました。大型トラックで快適に走るために何が必要か、改めて考えてみるきっかけにもなりましたね。禍を転じて福と為す。どんな苦勞があっても、それを製品開発に活かしていくのが技術者魂だ。これから、また新たな大型トラックの先進機能が生まれるのかもしれない。」

小林氏は言う。「疲れない、ぶつからない、壊れない、人を傷つけない。当たり前のことのようにですが、それはドライバーにとってトラックの理想です。そして、それを他よりも高い次元で形にすることはとても難しい。しかし、今回ご紹介した**アクティブサイドガードアシスト1.0**や、運転自動化レベル2の高度運転支援機能**アクティブドライブアシスト2**を搭載した新型スーパーグレートが、その理想に「一歩ずつ近づいていることは間違いないだろう。」

【注意】
アクティブサイドガードアシスト1.0は、お客様ご自身では絶対に動作を試しないうでください。機能を正しく理解した上でご使用ください。

スーパーグレートについて詳しくは「チラシ」



何度もテストを繰り返し、データ上だけではわからない、ドライバーにとって最良の結論を導き出す

アクティブ・サイドガード・アシスト1.0を付けることで、今までの事故なら助からなかった命を救うことができる

SUPER GREAT

「信頼」を、形に。

キャンターのエンジンが、改良を重ねてさらに性能アップ!



キャンターのパワフルな走りを支える
高性能3ℓエンジン4P10が、4P10+(プラス)へと進化。
それに伴って向上したのは、燃費性能と環境性能だけではない。
「信頼」という数字には現せないスペックが搭載されている。
その開発メンバーに、今回のリニューアルについて話を聞いた。

4P10+

3ℓ DOHC 16VALVE INTERCOOLER TURBO

磨き抜いた
エンジンの信頼性。

昨年デビューしたキャンターでは、デザインの一新や安全性能の向上が話題となったが、進化したのはもちろんそれだけではない。商品性の向上のために日々継続的に改良を重ねてきたエンジンだ。

「燃費ロスを最小限に抑えながら、排ガスを低減する。燃費性能と環境性能の両立が今回のリニューアルの大きなテーマでした」。従来の4P10の改良型エンジン、4P10+についてプロジェクトマネージャーの森氏はそう語る。省燃費と排ガス低減は相反するものであり、燃費の犠牲なしに満足いく結果を得るのは非常に難しい。4P10+では、それが高いレベルで改良されている。

「ヨーロッパで採用している技術を日本でも採り入れたのですが、使用する環境がかなり違つので、それを日本仕様のエンジンにするのは思いのほか大変な作業でした。特に日本ではヨーロッパ以上に燃費性能を求められますから、その改善にはとても苦労しました」と言うのは、過去10年来、4P10の開発に携わってきた小林氏。世界市場で実績のあるものを、より高い燃費性能が要求される日本でさらに磨き抜き、信頼性を向上させたのが今回のエンジンなのだ。

これまでのキャリアのほとんどをエンジンの研究・開発および車両の燃費改善に捧げてきたという、ベテランの醍醐氏は語る。「4P10はデビュー以来、燃費がいちばんの強みでした。その強みを生かしたまま信頼性を究極までアップさせ、さらに環境にも優しくしたのが今回の4P10+です」。10年をかけて、性能をきめ細かく見直し、一歩ずつ着実に改良を続けてきたエンジン。地球に対しても、お客様に対しても、かつてないほど優しいトラックがここに完成した。

確かな信頼を 将来へつなぐために。

「燃費、環境性能、信頼性。この3つの柱をそれぞれ一層磨き込んでいくことが、キャンターのこれからの目標です」と醍醐氏は語る。

「4P10の特徴は、ひとつのエンジンでキャンターのすべてのラインナップを幅広くカバーできることです。それだけ汎用性の高いエンジンと言えると思います。」そう語るのはいま小林氏だ。「4P10は発売以来10年、市場のニーズやお客様のご意見・ご要望に沿うよう、時代とともに改良を続けてきたエンジンです。4P10+になって、これからもまだまだ進化し続けると思っています。この長い歴史をしっかりとつないでいきたいです」と言う森氏。取材を通して、開発メンバーの一人ひとりから、このエンジンに対する深い思いと開発にかける情熱が伝わってくる。

最後に、開発プロジェクト全体をリードしてきた神鳥氏が語ってくれた。「今後はトラックも徐々に電気自動車に移行し



4P10+エンジン
(直4インタークーラーターボ)
総排気量 2,998L

ていくと言われています。それでもまだ当分は、化石燃料を使うエンジン車が續くはず。それまで安心して走り続けられるように、燃費規制や排ガス規制には確実に対応しながら、より安全なクルマづくりで社会に貢献していきたいと思っています。」トラックの心臓として、キャンターを、そして三菱ふそうを走らせ続けてきた4P10エンジン。そこには、「信頼」という数字には現れないスペックが搭載されている。

自信があるからエンジン はきめりや。

4P10+エンジンの搭載により、さらに信頼性が向上したキャンター。それに伴って、**メーカー保証もこれまでの5年・10万kmから最長8年・18万kmへと大幅に延長された。三菱ふそうならではの「EXプラン」**※だ。エンジンやトランスミッションなどの高額修理も保証の対象となっており、思いがけない突然の出費を抑えることができる。

「これは、エンジンに自信があるからこそできたことです」と神鳥氏は言う。そして小林氏、「今の4P10+のクオリティレベルは、10年という長い年月をかけてここまで磨き上げてきました。自信があります。このプランはまさに、お客様の信頼に応えるエンジンの証でもあると言えるだろう。」

生まれ変わったキャンターは、常に安心して走れるトラックとして新たな進化を目指す。そのためには信頼できる製品の品質と、手厚いサポートプランが欠かせない。キャンターはこれからもその両輪を駆使して、日本の物流を支えるために走り続ける。

※三菱ふそうディーラーサービス工場での12カ月点検入庫と連続した車検入庫が必須となります。

キャンター4P10+エンジン開発メンバー



4P10+エンジン開発担当
マネージャー
醍醐 康徳



4P10+エンジン開発担当
マネージャー
森 大樹



Eモビリティ・アジア
マネージャー
小林 忠雄 *9月までCAE部所属



小型トラック開発部 TF japan
マネージャー
神鳥 亮

絶品
地元メシ

全国SA・PA

おいしい手土産 図鑑

家族や友人に、お世話になっている取引先に、そしていつも運転をがんばっている自分のために、買って帰りたくなるグルメの逸品15選をご紹介します。



道央自動車道 北海道
有珠山SA(上下)

わかさいも本舗
人気商品4種セット
税込587円

焼きいものようなホクホク食感が特徴的な北海道洞爺湖温泉名物「わかさいも」など、4つの銘菓を詰め合わせ。



常磐自動車道 茨城県
友部SA(上り)

本和香
亀ノ極ろ〜る
税込1,350円

茨城県はメロンの生産量日本一。鉾田市産のメロンを使い、香りと味にこだわって仕上げたロールケーキ。



東北自動車道 上河内SA(上り) 栃木県

あさや特製和牛カレー
税込680円

日光・鬼怒川温泉あさやホテルの人気メニューがレトルトに。30種ものスパイス・ハーブと黒毛和牛を贅沢に使用。



長野自動車道 長野県
姨捨SA(上り)

月の里おぼすて
信州産八割そば
税込1,250円

そば粉もつゆ用の丸大豆も、そばの本場である信州産。素材にこだわった保存料無添加のオリジナル商品。

中央自動車道 長野県
小黒川PA(下り)

信州大学
農学部
りんごジュース
ふじ100%
税込600円

信州大学の農学部生が原料からラベルまで手がけたりんごのストレートジュース1L。250ml(税込270円)もある。



東名高速道路 神奈川県
EXPASA海老名(上り)

籠清揚
税込1,620円

小田原かまほこの老舗「籠清」の揚げ物セット。イカ・タコ・エビを混ぜたボリューム満点の6枚入り。



圏央道 埼玉県
菖蒲PA(集約)

深谷ねぎ
のつけ飯
税込648円

甘みの強い深谷ねぎに刻んだ野沢菜と昆布を加えた“ごはんの友”。豆腐のにせる、パスタや卵焼きに混ぜるのも美味。



北陸自動車道 福井県
北鯖江PA(上下)

冷凍夢助だんご
四季のおまかせ
税込854円

米の風味を大切に1本1本焼き上げ味付けし、出来立てを急速冷凍した5種セット。自然解凍しても軽く温めても。



新東名高速道路 静岡県
NEOPASA浜松(上下)

〈すぎもとミート〉
ジューシーくん
ハンバーグ
税込1,620円

静岡で大人気! 牛肉100%の粗挽きハンバーグを冷凍。香味豊かなオニオンソース付きの3個セット。

中国自動車道 岡山県
勝央SA(上下)

JERSEY HILLS
ミルクケーキ 税込1,730円

蒜山高原で育ったジャージー牛のミルクをふんだんに使った真っ白なケーキ。なめらかムース×もっちり求肥が絶品。



名神高速道路 滋賀県
多賀SA(上り)

濃厚窯出し
多賀チーズタルト
税込350円

手作りで焼き上げたカスタードクリームチーズがタルト生地にぎっしり。箱入り3個セット(税込1,134円)もある。

松山自動車道 愛媛県
石鎚山SA(上り)

瀬戸の塩だれ 税込620円

2つの特産品「伯方の塩」と「瀬戸内産レモン」から生まれた石鎚山SA(上り)限定商品。料理を選ばない万能だれ。



山陽自動車道 岡山県
瀬戸PA(上り)

倉敷クラフト
ドリンクミキサー
ジンジャーエール
税込1,080円

岡山県産生姜が香るジンジャーエールの素。本格的なジンジャーエール、ジンジャーカクテル、生姜湯が簡単に作れる。



名神高速道路 吹田SA(上下) 大阪府

大阪華かりん(こしあん)
税込1,026円/6個入

地元で有名な和菓子店「EIKADO」の看板商品。カリッとした黒糖風味の生地にホクホクの餡が詰まった揚げまんじゅう。

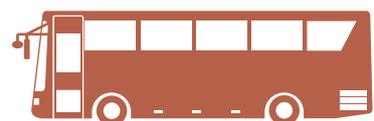


宮崎自動車道 宮崎県

山之口SA(上下)
ゴロっとカレーパン
税込各300円

宮崎県都城市のブランド豚「観音池ポーク」の角煮が入った甘めのカレーパン。今年5月の発売以来、大ヒット中。

* ■ = NEXCO東日本エリア、■ = NEXCO中日本エリア、■ = NEXCO西日本エリア
* 協力: ネクスリア東日本、中日本エクス、西日本高速道路 * 写真はイメージです。



車両管理のお手伝い。この機会にお申込みを!

トラックコネクットの 6つのメリット さらに+1

稼働中のトラックの情報をインターネットでリアルタイムにチェックできるサービス、それが三菱ふそうが提供するトラックコネクト。トラックの車両情報を三菱ふそうカスタマー・アシスタンス・センターが受信し、お客様はトラックコネクト専用ページにアクセスするだけで、現在地や運行状況などを把握できます。車両トラブルの対応や業務効率の改善、危険運転の予防など、幅広いシーンでスピーディーに貢献します。

TRUCKCONNECT



Merit ① 遠隔診断

トラブル対応がスピーディー

突然の路上故障でも位置情報や故障の原因をすぐに特定。車両復帰のタイムロスが格段に減少しました!



Merit ④ 燃費把握

省燃費への意識改革が進行

燃費を細かく把握できるので、会社や個人の目標設定に活用!ドライバーの省燃費運転の意識も向上しました。



Merit ② 車両位置・軌跡状況把握

突然の依頼にも即対応が可能

急な集荷・配達依頼にも、現場に最も近い車両を探し出し、手配できるので荷主さんから喜ばれています。



Merit ⑤ 車両管理

車両データの「見える化」で稼働率がアップ

各車両の稼働率を把握できるようになり、無理のない運送マネジメントを実現。ドライバーの運転品質も向上し、稼働効率も向上しました。



Merit ③ 安全運転情報

ドライバーの安全運転の意識向上へ

普段は気づきにくい自分の運転傾向がわかります。安全運転のスコアも表示されるので、安全運転が自然に身に付きます。



Merit ⑥ ジオフェンシング機能

運転プロセス改善、業務効率化に貢献

ジオフェンシング機能で特定のエリアに入ると通知されるので、運転のプロセスや業務の効率化に注意が向くようになりました。

さらに+1 1年間無料から▶▶▶ 3年間無料へ

これまでのトラックコネクットの利用料金無料期間は1年でしたが「ご契約から3年間」無料に変更します。すでに有料期間でご契約いただいている車両についても変更を適用し、ご契約から3年間、利用料金は無料となります。



トラックコネクットについては
こちらから

(トラックコネクットのお申込みは、お近くの三菱ふそう販売店へ。)



ごみ収集のエキスパート、 中島運輸の塵芥車にキャンターが活躍!

創業以来70年——

大都会・東京のごみ収集を続けてきたのが
中島運輸株式会社(以下、中島運輸)です。

同社で活躍する塵芥車が「4P10+エンジン」
搭載の三菱ふそうのキャンターでした。
動力性能、省燃費、操作性、セーフティ
ドライブ機能…何よりも三菱ふそうの
「はたらくトラック」への信頼がありました。



▲代表取締役 鈴木高志

COMPANY DATA

中島運輸株式会社

所在地: 東京都江東区

設立: 昭和26(1951)年

- 事業: ①船船によるごみの輸送処理作業
②中央防波堤埋め立て処分場内における
揚陸運搬作業及び埋め立て処理
③東京23区内の家庭ごみ収集運搬作業

待ち望んでいた 三菱ふそうの塵芥車

「はたらくトラック好き」の子どもの
ちの間で、根強い人気なのがごみ収集車
(塵芥車)だそう。朝早くからごみを集
め、街をきれいにする働き者の様子をよ
く見ているのですね。

中島運輸はごみ処理事業を1951年
から手掛けてきました。船舶によるごみ
の輸送処理から中央防波堤埋め立て処分
場、いわゆるごみの最終処分場への運搬・
埋め立て処理、そして東京23区内の家庭
ごみ収集運搬作業が主な仕事です。

同社・鈴木高志代表取締役は「200
7年頃から、環境問題の高まりで23区
における資源回収事業が拡大。各区の
要請に応える必要があることから、設
備投資で塵芥車を増やさなければなら
ませんでした」と話します。

中島運輸は三菱ふそうと長年の付き合いがあり、大型車・
スーパーグレートをごみ処分場への運搬に使用していました。
「当然ごみ収集の小型フレックス車はキャンター」と考えていまし
た。しかしある時期三菱ふそうは、塵芥車の製造から遠ざかっ
ていました。それが再び製造を開始。そこで早速、キャンター
導入を検討し始めたのです。

決め手はエンジン、 素早いメンテナンス対応

東京の街中を走行する塵芥車。その基
準は、他県などより厳しいのだそうで
す。狭い路地でも歩行者などに迷惑をか
けることなく安全にゴミ収集ができる
ように、助手席のドアはスライドドアで
あることなどが義務付けられています。



規準のクリアはもちろん、決め手となったのは経済性・環境
性能に定評ある「4P10+エンジン」。加えて省燃費・耐久性、小
回りの効く操作性、セーフティドライブ機能でした。「とりわ
け三菱ふそうさんのメンテナンスの素早い対応が大きかった
ですね」と藤井正造作業統括課長が教えてくれました。

問題なくて当たり前 それがはたらくトラック・塵芥車

キャンターの導入後、ドライバーの皆さんは不具合なく、
乗りこなされている様子。一見シビアな反応ですが、問題な
くて当たり前なのが、塵芥車などの作業車です。

中島運輸のドライバーと同乗作業員は、はたらくトラッ
ク・塵芥車を駆使して、都民・区民のため日々ごみ収集にあた
り、東京の環境維持に貢献しています。

自工会からの
案内もぜひ
ご確認ください!

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

夏冬 タイヤ交換後の 大型車の車輪脱落事故に注意!

～大型車の車輪脱落事故を防ぐ新しい「お・ち・な・い」～



お とさない!
脱落防止はまず点検。
事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ
唯一かつ最善な手段です。

ち やんと清掃、ちゃんと給脂!
ナットとワッシャーとの
隙間への注油も忘れずに!

- ボルト、ナットの錆や汚れを落とし、エンジンオイルなどを塗布してください。ナットをボルトの奥まで回転させたとき、ナットとワッシャーがスムーズに回転するか点検します。
- スムーズに回転しない場合、ボルトとナットはセットで交換してください。
- ボルトとナットは新品から4年経過後は入念に点検してください。

な (ナット)
ット締め、トルクレンチを必ず使用!

- 適正なトルクレンチを用いて規定のトルクで確実に締め付けます。
- 初期なじみのため、タイヤ交換後50～100km走行後を目安に増し締めを実施してください。

い ちにち一回、緩みの点検!

- 運行前にボルト、ナットを目で見て手で触って点検。
- 特に脱落が多い左後輪は重点的に点検を。
- ISO方式の場合は、目視で確認できるインジケーター装着による点検がより効果的です。

詳しくは、
こちらから!

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラック) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会

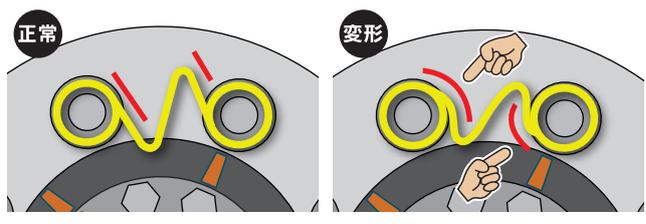
冬用タイヤに交換したら、点検を忘れずに!

車輪は「走る・曲がる・止まる」を支える大切なもの。その脱落は、甚大な事故を引き起こします。10月からは、雪シーズンに備えてタイヤ交換の実施時期です。この機会にあらためて、安全確保のための点検を忘れずお願いします。

「連結式ナット回転指示インジケーター」 を使えば、ホイールナットの緩みがひと目でわかる!



ホイールナットの緩みがひと目でわかる!
締め付けが弱いとナットが回転しインジケーターが変形。
高精度点検が誰でも可能に!
装着するだけなので、点検経験が少ない人でも安心です。
日常点検の負担を軽減!
目視で点検。微かな打音を何度も聞き分ける必要がありません。



インジケーターのお買い求めは、お近くの三菱ふそうの販売店へ。

詳しくは、
こちらから!



国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラック) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会





安全性と快適性を高めて生まれ変わったキャンター1・5t積クラス(2WD車)に、待望のMT車が10年ぶりに復活。エンジン出力は、81kWから96kWにパワーアップして登場です。スマートな走りのAMT(DUONIC2.0)車と合わせて、キャンターのラインナップがさらに充実しました。

※DUONICはDaimler AGの登録商標です。

キャンター1・5t、
10年ぶりのMT車が
よりパワーアップして登場！



四国三菱ふそう販売株式会社 本社

三菱ふそうは、四国地方においてより地域に密着し、お客様へのきめ細かで充実したサービス体制を構築するために、特約販売会社である四国機器とともに「四国三菱ふそう販売株式会社」を設立。10月より業務を開始しました。今後はここを拠点に、四国全域でナンバーワンのサービスを目指してお客様をサポートしてまいります。

四国三菱ふそう販売、
地域密着サービスを
目指して
業務スタート！



事務所と部品庫を新事務所棟に統合し、入庫車両の駐車スペースを増やしました。車両の動線も見直し、出入庫がよりスムーズに。モダンな外観デザインで、屋上と側壁を緑化した環境にも優しい建物です。待合室は男女別、リクライニングチェアなどで快適な空間を目指しました。お身体に障がいのある方向けの設備も導入しています。また、地域の関係団体と協力して周辺地域の「子ども食堂」の活動にも協力しています。

東京都下の重要拠点、
品川支店を
リニューアルオープン！

スムーズな走りの

AMT

DUONIC 2.0

パワフルな走りの

MT

MANUAL MISSION

10年^{ぶり}
復活!

今いちばん熱い1.5tを、FUSOから。



キャンター1.5tに、10年ぶり待望のMT車が復活!

安全と快適を高めて生まれ変わったキャンター1.5t積クラス(2WD車)に、10年ぶり待望のMT車が復活。自在な運転感覚とパワーアップしたエンジンで、走りにこだわるお客様にもおススメです。楽に運転できるAMT(DUONIC 2.0)車とのダブルラインアップで、より多彩なニーズにお応えします。

* CANTER®は三菱ふそうトラック・バスの登録商標です。 * DUONIC®はDaimler AGの登録商標です。

CANTER

SINGLE & DOUBLE CAB

1.5t DUONIC 2.0

1.5t MANUAL TRANSMISSION

トラック・バスのお問い合わせは、三菱ふそう販売店へ



三菱ふそう
公式アカウント



スマホのカメラでQRコードを読み込むだけ!

三菱ふそうトラック・バス株式会社

www.mitsubishi-fuso.com